いわキラッ人



体をほぐして、”笑顔”の循環を

赤堀（あかほり）　明希（あき）さん（セラピスト）

赤堀さんは今のお店を構える前に、セラピストとして温浴施設等で働いていました。しかし、夜遅くまで働くこともあり、家族を持ちながらその生活を続けていくのは困難だと感じ、結婚のタイミングで一度やめる決断をしました。その後五年ほど、別の仕事をしていました。その中でも、「いつかまた、セラピストとして働きたい」という気持ちがあり、自発的に施術を行い、腕がなまらないように技術を磨いてきました。

転機となったのは、子育てに疲弊していた中で、今は師と仰いでいる人のリラクゼーション店を訪れた時でした。約2年ぶりに受けた施術で、自分では気づかなかった全身の強いコリがほぐれ、体の隅々まで血が巡るような心地よさと解放感を体験します。それ以上に大きかったのは、張り詰めていた緊張やストレスから解放され、気持ちが整理されたことでした。この経験から「体だけでなく、心や頭を休める時間がいかに大切か」を実感したといいます。

その後、夫が事業を始めるにあたり、自分のサロン用の場所を設けて欲しいと強く依頼し、赤堀さんは施術の再開を決意します。

「お母さんが家の中でピリピリしていると、その雰囲気はパートナーやこどもへと伝染し、悪い循環を生んでしまいます。しかし、お母さんがリセットされて笑顔を取り戻せば、家族全体の雰囲気も自然と明るく良くなっていきます」。そう語る赤堀さんは、自分自身の子育て経験から、人が持つパワーは大きいからこそ、まずは自分自身を大切に、そして自分自身を整え、笑顔の拠点となれるように、「笑顔が巡る暮らしを未来へつなぐ」というポリシーを胸に施術を続けています。

現代人は、スマートフォンなどでいつでもどこからでも情報が得られるため、無意識のうちに思考が縛られ、気を張って生活していると言われています。だからこそ赤堀さんは、「癒やしに行こうと意気込む必要はありません。今やっていることから少し離れて、気持ちをリセットすることが大切です」と施術に来るお客様にも、心の整え方を伝えています。

現在は、次の取組としてお母さんやこどもが笑顔になれるようなイベントの企画やボランティアに参加しています。これからも多くの人が笑顔を巡らせることができる場所を増やしていきます。



ライフコーチングを通して、内面も整えられるような新しい取組を始めています。